

第 59 回関西油化学講習会（油技術講座）のご案内

主題：化粧品分野での最先端洗浄技術

本講習会では、学界や業界で第一人者としてご活躍の講師の方々に当該テーマについて平易に解説していただきます。様々な分野から多数のご参加をお待ちいたしております。奮ってお申し込み下さい。

主催 (公社) 日本油化学会 関西支部

協賛 日本化粧品技術者会大阪支部

日時 平成 29 年 11 月 22 日 (水) 9 時 30 分～16 時 55 分

会場 大阪産業技術研究所 (〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50)

J R 大阪環状線・地下鉄中央線または長堀鶴見緑地線「森ノ宮」駅下車、4 番出口東へ 300m の都市基盤整備公団と赤十字血液センターの間の角を北へ 300m、森之宮小学校北隣。徒歩約 10 分。

参加費 (テキスト代を含みます。)

本会正会員、もしくは本会法人会員・協賛団体会員会社の勤務者 15,000 円

本会法人会員会社に勤務している正会員 12,000 円

大学・官公庁の正会員 10,000 円

学生会員 5,000 円

会員外 20,000 円

申込先 〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 木田研究室内

(公社) 日本油化学会関西支部 関西油化学講習会担当 [電話 06-6879-7920 FAX 06-6879-7923]

申込方法 氏名、会員番号 (正会員・学生会員の場合)、勤務先、連絡先所在地、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを明記の上、郵便または FAX でお申し込み下さい。第 59 回関西油化学講習会のホームページ (<https://sites.google.com/view/2017jocs-west-seminar/>) からの申込みも受け付けています。参加費は締切日までに銀行振込で前納して下さい。なお、納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込先：京都銀行下鴨支店・普通預金口座 3246576

社団法人日本油化学会関西支部事務局；シヤ)ニホユカガクカイオンサイシブジシムキョク

申込締切 11 月 8 日 (水) [定員 70 名：先着順]

プログラム：

1. 「洗浄剤の泡デザインと泡の機能」

花王 (株) 基盤研究セクター マテリアルサイエンス研究所 坂井 隆也 氏 (9:35-10:45)

化粧品洗浄剤には豊かな泡立ちが求められ、処方開発においては、消費者が心地良い洗浄を行えるよう起泡性を設計するのが常である。通常、主界面活性剤に対し、増泡ブースターと呼ばれる補助界面活性剤を複合化して発現する相乗効果を利用し、泡性能を向上する手法がとられる。本講演では、補助界面活性剤による増泡効果のメカニズムと泡のデザインの実際を紹介するとともに、近年新たに分かってきた泡の機能について紹介する。

2. 「アミノ酸系界面活性剤を用いた洗浄剤への増粘応用」

理研ビタミン (株) 化成品事業部 化成品改良剤開発部 宮田 侑典 氏 (10:55-12:05)

近年、日本を始めとするアジア市場でアミノ酸系界面活性剤を用いたマイルド系洗浄製品が受け入れられて来ているが、増粘剤により十分な粘度を付与できない場合や、十分な粘度を付与するために増粘剤の配合量が多くなる問題がある。今回、アミノ酸系界面活性剤を主剤とする洗浄剤に応用した場合にも低添加量で十分な増粘作用を示し、経時で黄変し難く透明洗浄剤にも適した低分子型増粘剤を紹介する。

3. 「クレンジング製品の相平衡制御による機能・感性価値の両立」

(株) 資生堂 グローバルイノベーションセンター 渡辺 啓 氏 (13:20-14:30)

クレンジング(メイク落とし)に求められる重要な特徴は、「メイクの落ちの良さ」と洗い流し後の「さっぱり感」である。しかしながら、これらの特徴はトレードオフの関係にあるため、成分の配合量調整などの試行錯誤法では両立することが難しい。本講演では、これらの特徴を両立したクレンジングオイル・リキッドの開発事例を紹介し、トレードオフ関係の解決に有用な相平衡研究の方法論を述べる。

4. 「クリーム状水性洗顔料処方化のポイント」

ポーラ化成工業(株) 横浜研究所 開発研究部 竹山 雄一郎 氏 (14:40-15:30)

クリーム状水性洗顔料は、皮膚上の汚れを取り除く基本機能に加え、泡立ての簡便さや保湿剤を高配合できる等のユーザーメリットが大きいため多くの製品が上市されている。その一方、主成分である石鹸や界面活性剤は濃度や温度、さらには保湿剤の添加によって構造が変化するため保存安定性の確保が難しく、設計においては多くの工夫が必要とされる。本講演では、使用性と保存安定性を両立するためのポイントについて、界面化学的な視点で考察する。

5. 「頭皮・毛髪にやさしい洗浄」

ライオン(株) 研究開発本部 ビューティケア研究所 廣島 俊輔 氏 (15:40-16:50)

日常生活における紫外線やドライヤーの影響に加え、カラーリングやパーマネントウェーブ処理、ヘアアイロン等の用具の使用により、頭皮・毛髪は多くのダメージを受けている。そのため、シャンプーには、単に汚れを落とすだけでなく、「頭皮・毛髪をやさしく洗浄する」機能が重要となる。本講演では、頭皮・毛髪にやさしい洗浄技術として、頭皮の乾燥抑制技術やシャンプーによるすすぎ時の摩擦抑制技術等を中心に、近年の洗浄技術動向について述べる。

----- きりとり線 -----

関西支部 第59回関西油化学講習会 参加申込書 (1人1枚)			
氏名(ふりがな)		会員番号(正会員&学生会員)	
		事務局記入欄	
		受付番号:	
所属・部署			
連絡先	☎	電話	
		FAX	
		E-mail	
資格(該当に○印)	正会員 大学・官公庁の正会員	法人会員会社の勤務者 学生会員	法人会員会社の正会員 共催団体会員会社の勤務者 会員外
会費額	円	連絡事項	
送金日(予定)	月 日		

- ・この用紙が不足の場合は必要枚数をコピーしてお使い下さい。
- ・申込受領のご案内はメールでのみ行います。出来るだけメールアドレスをご記入下さい。
- ・後日、郵便にて参加証をお送りいたします。お手元に参加証が届くように連絡先をご記入下さい。